

Cisco ICM サーバの命名規則

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco ICM サーバの命名規則](#)

[Cisco ICM サーバのタイプ](#)

[命名規則](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、シスコが Cisco Intelligent Contact Management (ICM) サーバの命名に使用する命名規則について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco ICM

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- バージョン 7.0 よりも前の Cisco ICM リリース

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[Cisco ICM サーバの命名規則](#)

注: この命名規則は必須ではなく推奨です。Cisco ICM サーバおよびアプリケーションの管理とサポートを簡素化するために標準の命名規則を使用します。

Cisco ICM サーバのタイプ

Cisco ICM サーバの 5 つのタイプは、コア Cisco ICM 製品の一部です。

- ルータ
- Logger
- Peripheral ゲートウェイ (PG)
- 管理ワークステーション (AW)
- Historical Data Server (HDS)

命名規則

採用されている命名規則は、ある特定のシステム名が連続した 3 文字の略語で構成されることを示しています。

- **geo** : 3 文字の略語の GEO は Geotel を表します。
- **顧客インスタンス名** : 顧客名の略語または省略形。このカスタマー インスタンス名は、ICM 設定で定義するものと同じインスタンスで、5 文字以内に制限されています。
- **ノード名** : 略語はノードのタイプに使用されます。ICM 発信ルータ用のノード名 : rtrICM 口
ガー用のノード名 : lgrICM PG 用のノード名 : pgnxn は、以下の PG 番号です。1、2、
3.....nx は、a または b のいずれかです。シンプルックス PG サイトには、a PG のみが存在
します。デュプレックス PG サイトには、a PG および b PG が存在します。AW 用のノード
名 : awn。この n は以下の AW 番号です。1、2、3.....n。

たとえば、Cisco という名前の顧客のためにインストールした完全冗長 ICM システムの場合は次のようになります。

- サーバ名の先頭は、3 文字略語の **geo** になります。
- Cisco 用に選択した略語は **csc** です。
- 各サーバの略語はシステムのタイプに基づいています (上記の「[ノード名](#)」を参照)。

次に例を示します。

		サーバ名の各部分			
サーバの説明	サーバ名	geo (3 文字の略語)	顧客名の省略形	ノードのタイプ	ノードの番号
コールルータ A	geocsc ortra	geo	csc	rtr	a
コールルータ B	geocsc ortrb	geo	csc	rtr	b
口ガー A	geocsc olgra	geo	csc	lgr	a
口ガー B	geocsc olgrb	geo	csc	lgr	b

PG1	geocsc opg1a	geo	csc	pg	1a
PG25	geocsc opg25 a	geo	csc	pg	25a
AW	geocsc oaw1	geo	csc	aw	1
HDS	geocsc ohds1	geo	csc	hds	1

[関連情報](#)

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)